

新年あけまして おめでとうございます



仕上げの3学期、進学、進級とつながる学期に！

令和3年、新しい年が始まりました。今年は、「すがすがしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。」とのご挨拶はできにくい社会状況ですが、それでもやはりお正月は新しい気持ちでゆっくりお過ごしになったことと思います。

旧年中は、保護者・地域のみなさまには、制限のある中でも学校教育へのご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。3学期も昨年同様、子どもたちへの励ましや健康管理を、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今日から3学期が始まりました。新しい年のスタートの学期であり、今年度のまとめの学期です。3学期はあっという間に過ぎますが、次の学年へつながる大切な学期でもあり、この期間を有意義に過ごすことは、次の1年の成功にもつながります。子どもたち一人ひとりが「めあて」をしっかりとって、一生懸命に努力し、最後まで「やり抜く」充実した3学期にしてくれることを願っています。

子どもたちが元気に楽しく目標をもって学校生活が送れますように、私たち教職員もプロ意識を高く持ち、『心躍らせて 学び 励む子ども ～一人ひとりがキラリ輝く布引の子～』という学校教育目標のもと、「深く 誠実に しなやかに」を合言葉に誠心誠意努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年は丑(うし)年です ～丑(牛)のつくことわざは？～



文献によると、十二支はもともと動物とは無関係の単なる記号として使われていましたが、十二支をおぼえやすくするために、動物にあてはめて親しまれるようになったと言われています。そういえば、「土用丑の日」は、牛肉を食べる日ではないですね。丑と牛はまったく無関係です。

では、どうして「丑」がなぜ「うし」になったか。それは、2学期の終業式にある3年生の子どもが昔話を全校児童の前で見事に披露してくれましたので、お子さんに聞いてみてくださいね。

(十二支のことわざ辞典より)

草木も眠る丑三つ時・・・気味が悪いほどひっそりと静まりかえっているさま
食ってすぐ寝ると牛になる・・・食べてすぐ横になる行儀の悪さを戒めることば
牛も千里 馬も千里・・・早くとも遅くとも、行き着く先は同じだからあわてるなというたとえ
鶏口となるも牛後となるなかれ・・・大きな集団の尻にいるより小さな集団の長がいいというたとえ
牛に引かれて善光寺参り・・・他人の偶然の誘いが、良い方面に向かわせることもあるということば
商いは牛の涎(よだれ)・・・なんでも、気長に辛抱強く続けることが一番大切であるということば
牛を食らうの気・・・幼い頃から、大きな目標をもっていることのとえ

卒業証書授与式は、“小学校最後の授業”です

学校では、小学校での学習の集大成として“最後の授業”の場であるとしてらえています。そして、『思い出・感謝・希望』をテーマに、子どもたちにとって感動と未来への思いに満ちた厳粛な中にも温かい式になるよう、全教職員で指導をしていきます。卒業生はもちろん、在校生の子どもたちも含め全校のみんなで創る“授業”です。



今年度は、感染拡大状況レベルにより、まだどうなるか確定していませんが、6年生の保護者のみなさまには卒業式の意義をご理解の上、“最後の授業”にふさわしく、小学生らしい姿で臨めるよう、下記のことについてご理解とご協力をお願いいたします。

*過度な衣装は控え、小学生らしいものとしてください。

*式場での靴は、通常と同じ上靴とします。

*髪型についても、普段の小学生らしいものとしてください。